

WILDLIFE VIEW vol.8

ワイルドライフビュー 8号



CONTENTS

Feature	しなやかに美しくミステリアスなハンター（カラカル）
File1	石巖に潜む小さなエルフ（ロックハイラックス）
Column1	オーストラリアの街中を彩る極彩インコ（ゴシキセイガイインコ）
File2	コーラルリーフに命が踊る（コーラルリーフ）
Column2	BLACK&WHITEのリーフィーター（アビシニアコロブス）
File3	気の優しい森の道化師（マレーグマ）
Column3	日本古来のイタチのなかま ニホンアナグマ（ニホンアナグマ）
File4	デビッド・シェルドリック・ワイルドライフ・トラスト



FEATURE しなやかに美しくミステリアスなハンター

その一瞬、草原の時間が止まった。自慢の黒い耳をピンと立てた金色のハンターが現れた。その名はカラカル。トルコ語で“黒い耳”を意味する彼らの美しく黒い飾り毛のついた耳は、獲物のわずかな動きも逃さず察知して狩りを行なうことができるのだ。

Photo :©Federico Veronesi



FILE 2 石巖に潜む小さなエルフ

岩山や崖を自由自在に移動したかと思うと、ふと姿を消すロックハイラックス。垂直に近い岩壁でも吸い付くように巧みに登ることができるため、ジャッカルや猛禽類、ヘビなどの外敵から身を守ることできる。東アフリカから南アフリカ北部までの岩山や崖はまさに彼らの秘密基地となっている。そんな隠れ家からふと覗く可愛い姿は見る者をハッピーな気持ちにしてくれる。

Photo :©Anup Shah and Fiona Rogers



FILE 3 コーラルリーフに命が踊る

サンゴ礁は日本をはじめ、世界中の温帯から熱帯沿岸に分布している命の宝庫である。サンゴ礁が形成されるには、水温 18～30 度程の暖かい海域が最も適しており、日本以南やインドネシアの島々、地中海などで多く見られる。そこでは様々な生物が集まって住処にしたり、狩場にしたりして過ごしているのだ。

Photo :©Alexander Mustard